

1. 対象施設

施設名称	備考
旧平田庁舎跡地	更地
①平田農村環境改善センター（ふるさと会館）	—
②平田総合福祉センター（やすらぎ会館）	—
③生涯学習センター	平田図書館を併設
④平田図書館	生涯学習センターに併設
⑤平田体育館	—
⑥平田グラウンド	—
⑦平田テニスコート	フットサルコートとしても使用
⑧ゲートボール場	—
⑨温泉スタンド	



①平田農村環境改善センター「ふるさと会館」



開館時間

8:30～21:30

休館日

水曜日(水曜日が祝祭日の場合はその翌日)、年末年始

外観



多目的ホール



会議室(90名)



農事研修室(20名)



和室(2室)



厨房

②平田総合福祉会館「やすらぎ会館」



開館時間

浴室 13:00～20:00

会議室 9:00～17:00

その他 9:30～15:00

休館日

土日祝日、年末年始

外観



浴室



いきいきゆ(特殊浴室)



がんばルーム



食堂



静養室



和室1



和室2(24名)



多目的室(105名)



会議室(32名)



くつろぎルーム



相談室



相談室2



集団検診室(30名)



内科検診室



歯科検診室



栄養指導室



シルバー人材センター



事務室

③生涯学習センター



開館時間

8:30～21:30

休館日

月曜日(月曜日が祝祭日の場合はその翌日)、年末年始

外観



ビデオシアター(122席)



創作室(24名)



学習室(16名)3室

④平田図書館 (分館/生涯学習センター内)



開館時間

9:00～17:00

休館日

月曜日(月曜日が祝祭日の場合はその翌日)、年末年始、館内整理日(毎月最終水曜日)、特別整理期間(約1週間)

開架図書



レファレンスコーナー



ブラウジングコーナー



AVコーナー



お話コーナー

⑤平田体育館



開館時間
8:30～21:30
休館日
年末年始

外観



1階



2階

⑥平田グラウンド



利用時間
8:30～21:30
休館日
年末年始

全景

⑦平田テニスコート



利用時間
8:30～21:30
休館日
年末年始

全景

⑧ゲートボール場



全景

※管理はゲートボール協会に委託されているため、利用時間等は不明

⑨温泉スタンド



全景

利用時間

10:00～19:00

※温泉コイン販売時間

平日 9:00～17:00

2. 対象施設の抱える課題

①将来的な施設維持更新費用の不足

海津市公共施設等総合管理計画（平成 27 年 12 月）では、その目標を「公共施設の維持更新等にかかる費用を 40 年間で 49%を削減」としています。そのため対象施設も含めて海津市全体で公共施設の再編が大きな課題となっています。

②合併による施設重複

海津市が 3 町の合併によってできたため、公共施設の重複が課題となっています。今回の対象施設も市内に同様の施設を保有しており、将来的な公共施設の維持更新等に係る費用の不足が課題となっている海津市においては、機能が重複している公共施設の再編について検討していくことは喫緊の課題といえます。

海津市公共施設等総合管理計画の同じ施設類型の類似施設を以下に示します。

施設名称	類似施設
①平田農村環境改善センター（ふるさと会館）	南濃農村環境改善センター
②平田総合福祉センター（やすらぎ会館）	海津総合福祉会館（ひまわり）、南濃総合福祉会館（ゆとりの森）
③生涯学習センター	文化センター、文化会館
④平田図書館	海津図書館、南濃図書館
⑤平田体育館	南濃体育館、武道場
⑥平田グラウンド	海津グラウンド、南濃グラウンド、南濃南部グラウンド
⑦平田テニスコート	南濃テニスコート、南濃南部テニスコート
⑧ゲートボール場	—
⑨温泉スタンド	—

③対象施設の稼働率

対象施設のなかには稼働率の高い施設や諸室は存在しますが、その多くは稼働率が低い状況にあります。将来的な公共施設の維持更新等にかかる費用を削減しなければならない状況において、稼働率の低い諸室及びそうした諸室を抱える公共施設についてはそのあり方を見直す必要があります。

④旧耐震基準の施設

対象施設のうち、平田体育館は新耐震基準以前の建物であり、公共施設として使用していくためには、建物の安全性を確保しておく必要があります。公共施設の再編方針にもよりますが、平田体育館を公共施設として継続使用していくためには、耐震診断や耐震補強等を行う必要があります。

3. 海津市の対象施設に関する方針

①できるだけ対象施設を保有したくない

前述の合併による公共施設重複の解消及び将来的な公共施設に係る費用の不足に備えるため、今回の対象施設を今後はできるだけ市で保有しない状態にしたいと考えています。

②できればホテル、飲食店等を誘致したい

今回の対象施設及び旧平田庁舎跡地において、海津市として望ましいと考える活用方法として、千代保稲荷等を訪れる観光客等を対象としたホテルや地域住民の憩いの場、交流の場となりうる飲食店を考えています。